

## 教科や各種教育活動における、タブレット端末の活用 (共有フォルダ、デジタルデータの活用)

D:児童生徒の ICT 活用力向上

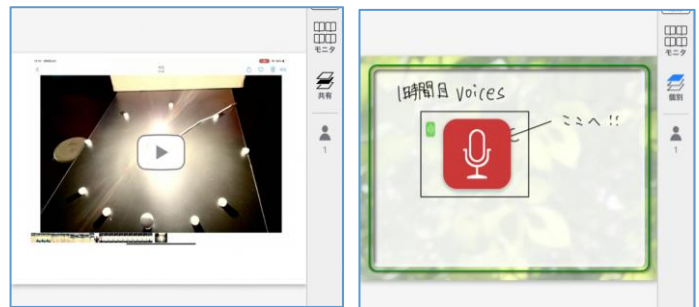
こんな生徒や先生方の姿が生まれました!

- デジタルデータを生徒も教師も利用できる共有フォルダに保存し、情報資産を共有した。
- 共有したデジタルデータ活用して、課題解決に取り組んだり、考えを深めたりする姿が生まれた。

### 文字入力以外のタブレット端末活用

#### 個の学びを深めるための 共有フォルダ内のデジタルデータの活用

- ・理科の実験映像、技術・家庭科の材料加工や調理技能などの映像資料を共有フォルダに保存しておき、生徒が必要に応じて活用できるようにした。
- ・英語の授業で文章の音読をタブレット端末で録音・再生し、客観的な評価をしながら、音読練習を行った。協働学習支援ツールのノート上に音声データとして貼り付けて提出し、教師が評価した。

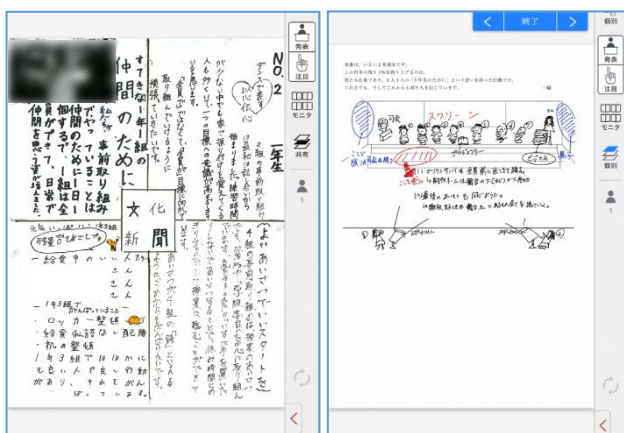


#### 導入のポイント

- つまずきに応じた資料や学びを深める資料などの映像データやWebページへのリンクを共有フォルダ内の教科別ノートに保存しておくだけで、生徒が必要に応じて活用できる。
- 自分の声を録音・再生し、繰り返し練習することができるとともに、評価としても活用できる。

### 学級活動における新聞発行や話し合いメモの共有

#### 学級活動におけるタブレット端末の活用



- ・学級新聞の作成をタブレット内の協働学習支援ツール上でを行い、配付機能を用いて生徒全員に配付した。印刷や配付の手間、情報発信までの時間短縮ができ、願いや具体的な活動内容の共有ができた。新聞の発行には、デジタルデータを貼り付けたり、リンク先を貼ったりすることもでき、情報量や内容が豊かになった。
- ・行事計画をする際に、提案資料を共有し、修正や変更点を協働学習支援ツール上に書き込むことで、欠席している生徒を含めて、リアルタイムで情報を共有できた。
- ・寸劇などの練習風景を撮影した動画データを貼り付けることで視覚的に状況を把握することができた。

#### 導入のポイント

- 協働学習支援ツールを活用することで、画像や動画、書き込みなどを保存することができるとともに、多様な情報をリアルタイムで共有することができる。